

一般財団法人
会長 藤 洋

共同応募の場合は、応募される全ての事業者の書面と捺印が事業者毎に必要となります。

法人格も含めて、正式名称を正確にご記入ください。

2022年 6月 1日

2022年度 省エネ大賞

応募申請書

捺印は役職印（無い場合は社印）が必要です。

応募者

■ 事業者（社）名 株式会社〇〇〇 △△△工場

代表者役職・氏名 取締役本部長 省エネ 太郎

郵便番号・住所 〒108-0023 東京都港区

業種・主たる事業内容等

食品製造業

「代表者」は社長でなくても、部門長以上（本部長、工場長、プロジェクト責任者等）の管理職で結構です。また、様式4と同一の方でお願いします。

■ 応募形態 単独応募 共同応募

■ 共同応募の場合の代表事業者 株式会社〇〇〇 △△△工場

代表事業者

共同応募の場合は、「共同応募役割記入シート」を合わせて提出ください。

単独応募か、共同応募かを明示ください。

応募案件

2022年度 省エネ大賞に下記を応募いたします

■ 応募部門 省エネ事例部門

製品・ビジネスモデル部門

■ 応募テーマ及び分野

【省エネ事例部門】

〇〇〇による〇〇〇省エネ活動の展開

応募内容を端的に示す、分かり易い名称にしてください。

該当分野を選択

小集団活動分野

2次審査方法（発表審査 ビデオ審査）

・該当する部門にチェックを入れてください。
・分野については、小集団活動分野以外はプルダウンから選んでください。

該当分野を選択

ビジネスモデル

該当分野を選択

省エネルギーセンター受付（事務局記載）

○ 受付年月日 2022年 月 日

○ 登録番号

○ 備考

2022年度 省エネ大賞

共同応募役割記載シート

応募テーマ名 ○○○による○○○省エネ活動の展開

代表事業者名 株式会社○○○ △△△工場

共同応募者名 ABC株式会社、あいうえ株式会社

単独応募の場合は
当シートの記入は不要です

事業者名	業務分担	備考
株式会社○○○	統括管理者 省エネルギー化の計画や進捗管理、対策実行のための建物利用者との調整や周知を行う「エネルギー管理委員会」の主幹を担い、省エネ・施設運用管理責任者として、省エネ効果の最大化検討、関係者との連絡会の開催・運営等、全体最適化を行う。	
ABC株式会社	設備担当者 省エネルギー対策の具体的な立案、実施、検証、見直しを行う「施設管理委員会」において、実データに基づく最適機器の選定を担う。	
あいうえ株式会社	運用管理者 各事業者から設備管理業務の委託を受け、設備の各種点検、運転、維持管理から、運用改善の検討や対策の実施を行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・共同応募の場合は、当様式での申請が必須です。 ・できるだけ具体的に、各々の役割を記載ください。 	

※「省エネ事例部門」の場合は、省エネ活動における主たる業務、「製品・ビジネスモデル部門」の場合は開発における主担当、役割等を記載ください。

応募者概要・連絡先

応募テーマ名			
応募部門		部門	
応募者概要・連絡先 (代表)	事業者名	担当者	氏名
	業種		部署
	事業内容、主要製品・サービス (※1)		役職
	資本金 (※1)		E-mail
	従業員数 (※1)		TEL
	中小企業者 (※2)		FAX
	備考		〒 住所
応募者概要・連絡先 (共同)	事業者名	担当者	氏名
	業種		部署
	事業内容、主要製品・サービス (※1)		役職
	資本金 (※1)		E-mail
	従業員数 (※1)		TEL
	中小企業者 (※2)		FAX
	備考		〒 住所
応募者概要・連絡先 (共同)	事業者名	担当者	氏名
	業種		部署
	事業内容、主要製品・サービス (※1)		役職
	資本金 (※1)		E-mail
	従業員数 (※1)		TEL
	中小企業者 (※2)		FAX
	備考		〒 住所
候補地 (記載必須)	現地確認審査 会社・事業所・建物名等	〒 住所	
	〒		
	住所		
	最寄駅名		

共同応募の場合、事務局からは基本的に、代表の担当者の方だけに連絡を行います。総ての応募者を取りまとめていただきます。

「担当者」は、役職等にこだわらず、実務担当として、事務局の問い合わせ等に対する的確、迅速に対応可能な方を選出してください。

共同応募者数が当フォーマットで足りない場合は、「行」をコピペで加えるのではなく、シート全体をコピーして、別シートを作って入力してください。

予定で結構ですので、忘れずに記載をお願いします。

※1地方自治体等の場合、記載不要。

※2中小企業者に該当する場合、“○”を記載。

2022年 6月 1日

2022年度 省エネ大賞

応募要件確認書

応募テーマ名： ○○○による○○○省エネ活動の展開

2022年度の上記応募対象について

1. 本事業の目的を損なうような行為 及び 虚偽の記載
や不正行為(※)
2. 他の特許等の侵害及び係争

がなく、法令を遵守していることを申告します。

(※)上記の点について、下記分野別記載事項毎に不正等がないかチェックください。

事例部門

- 先進性・独創性
- 省エネルギー性
- 汎用性・波及性
- 改善持続性

(事例) 小集団分野

- 活動内容・創意工夫点等
- 省エネ成果

製品・ビジネスモデル部門

- 先進性・独創性
- 省エネルギー性
- 省資源性・リサイクル性等
- 市場性・経済性等
- 環境保全性・安全性等

省エネコミュニケーション分野

- サービス内容等
- 情報提供を行うためのシステムや特徴等
- 先進性・独創性
- 省エネ効果や実績等
- 汎用性や経済性等

法人格も含めて、
正式名称を正確
にご記入ください。

(応募者)

〒
住所
事業者名
代表者(役職)
代表者(氏名)

108-0023
東京都港区芝浦〇丁目〇番地
株式会社○○○ △△△工場
取締役本部長
省エネ 太郎

「代表者」は社長でなくても、
部門長以上(本部長、工場長、
プロジェクト責任者等)の管
理職で結構です。
また、様式2と同一の方でお
願います。

(印)

捺印は代表者
の役職印(無い
場合は社印)が
必要です。

共同応募の場合は、応募される全ての事業者
の書面と捺印が事業者毎に必要となります。

2022年度 省エネ大賞

省エネ事例部門 省エネルギー活動の分類

事業者名 株式会社〇〇〇 △△△工場

応募テーマ名 〇〇〇による〇〇〇省エネ活動の展開

1. テーマ分野

・テーマ分野は応募企業の業種ではなく、省エネ活動を取り組んだ設備等が属する分野を選び、「○」を記載してください。「その他」を選んだ場合は（ ）内に分野を記載してください。

・表彰時に事務局にて、選択した分野を変更することもあることを、ご承知おきください。

テーマ分野	選択	テーマ分野	選択
①CGO ※・企業等分野		⑥支援・サービス分野	
②産業分野	○	⑦共同実施分野	
③業務分野		⑧節電分野	
④ZEB・ZEH分野		⑨小集団活動分野	
⑤輸送分野		⑩その他（ ）	

※CGO：Chief Green Officerの略。経営の視点から、事業全体を俯瞰しながら、省エネルギー活動・環境管理を統括する責任者（役員等）を指す。

2. 取り組み内容分類

それぞれ対象となる分類を選び、「○」を記載してください。分類上複数の取り組みを実施した場合は、省エネ効果の高いもの等、最もあてはまるものに「○」を記載してください。「その他の取り組み」を選んだ場合は（ ）内に取り組み内容を具体的に記載してください。

最もあてはまるもの2箇所まで記載可。

番号	主たる取り組み分類	選択
1	生産プロセス等における取り組み 例：生産プロセスや生産技術等の改善、見直し等	○
2	エネルギー供給設備や加熱、冷却、排熱回収の取り組み 例：ボイラ設備、熱供給設備、発電設備等における改善、加熱・冷却技術に関する改善や排熱回収にかかる改善等	
3	電動力応用設備における取り組み 例：コンプレッサ、ブロア、ファン、ポンプ設備、電動機のインバータ化、台数制御等、制御方法の改善、見直し等	
4	空調、照明、建物関連の取り組み 例：空調、照明関連設備の高効率機器への転換や運用による取り組み、窓の遮熱や天井の断熱、建物関連の取り組み等	
5	エネマネ・組織全体としての取り組み 例：エネルギーマネジメント等を主とした取り組みや会社等組織全体としての取り組み	
6	他社連携、ESCO、サードパーティ等活用による取り組み 例：他社との連携による省エネ推進、面的活用による地域での取り組みやESCO、サードパーティ等を活用した省エネ推進	
7	その他の取り組み（ ）	

整理 No
事務局記載

- ・ フォントサイズは「10 ポイント以上」を使用。
- ・ 英数字は原則半角とする。

省エネ事例部門（小集団活動分野以外）

2022 年度省エネ大賞

応募内容説明書

中小企業者とは、中小企業基本法第 2 条に規定する法人又は個人事業者（応募要領 P.14「中小企業者の定義」参照）

応募テーマ名

〇〇〇による〇〇〇省エネ活動の展開

企業名、工場名、グループ名など。

共同応募者含めて全ての応募者が中小企業に該当する場合はチェック

応募者（社）名

代表者（社）名 株式会社〇〇〇〇 ▲▲▲工場

共同応募者（社）名

共同応募の場合は全ての名称を列記してください。

業種

自動車部品製造業

応募種別（いずれかに✓を記入）

業種の分類は、総務省の「日本標準産業分類（平成 25 年10 月改訂）」により記載してください。

- | | | | | | |
|------------|--------------------------|------|-------------------------------------|-----------|--------------------------|
| CGO・企業等分野 | <input type="checkbox"/> | 産業分野 | <input checked="" type="checkbox"/> | 業務分野 | <input type="checkbox"/> |
| ZEB・ZEH 分野 | <input type="checkbox"/> | 輸送分野 | <input type="checkbox"/> | 支援・サービス分野 | <input type="checkbox"/> |
| 共同実施分野 | <input type="checkbox"/> | 節電分野 | <input type="checkbox"/> | | |

・応募内容説明書は、資料集やホームページ等で公開することがありますので、**非公開**としたい部分は、場所と範囲を明確にし、「非公開」のアイコンをつける等、明記してください。

1. サマリー (1 ページ以内)

1-1 企業・工場・事業場等の全体概要及びエネルギー管理体制等

省エネ法に基づく特定事業者に該当

エネルギー管理指定工場等に該当

- 1) ○○○事業所は1995年に操業を開始。2001年に第2工場を同町内に増設した。
- 2) 当事業所の従業員(520名・臨時・派遣数含める。2022年3月末現在)
- 3) 当工場は、第一種エネルギー管理指定工場に該当する。(原油換算○○kL/○○年度)

企業または工場、事業場等の概要として、業種、業態、活動期間、原単位、全体のエネルギー使用量並びにエネルギー管理体制、組織などを記載してください。

1-2 応募内容概要 (キーワード : ○○エコ活動、見える化、省エネパトロール、○○技術)

自動車部品工場の○○製造ラインにおいて、工場長をトップに○○エコ活動を実施、○○の抜本的な見直しと、…により大幅な省エネを達成した事例である。

具体的な取組みとしては、①…ラインへの○○○制御装置の導入、②○○○工程において、…を解決するための○○○技術開発と効率的管理体制の構築、③○○○センサーの導入によるエネルギー使用量の見える化および…のエネルギー使用量分析、④電力のムリ・ムダ抽出パトロールを通じた改善項目の発掘等を実施した。これらの取組みにより、事業所全体の○%にあたる○○kL(原油換算)のエネルギー削減を達成した。

- ・省エネ取組みの全体概要を、活動成果などを含め、簡潔に全角350文字以内に記載してください。また上部カッコ内に今回の活動内容をキーワードとして記載してください。
 - ・全体概要は受賞発表時に、受賞内容としてニュースリリース、HP等で公開されます。本概要だけで内容が理解できるように、わかりやすく記載してください。
 - ・主な省エネの取組みの内容とその成果(省エネ実績)について、端的に示すよう心掛けてください。
 - ・図表を使用せず、文字だけで作成してください。
 - ・エネルギーの削減量は原油換算を中心に記載してください。
- ※構成例：要約→具体的取組み→省エネ成果
※公開されている受賞理由を参考にしてください。
<https://www.eccj.or.jp/bigaward/winner21/pdf/e-all.pdf>

2. 詳細説明 (3. 4. を含め 9 ページ以内)

2-1 省エネ活動の背景、経緯(これまでの取組み実績)及び目的等

(1) 背景

省エネ活動にいたった状況等を記載してください。

○○工場では、…によって製造出荷台数が大幅に減少、固定エネルギーの比率が上昇し、エネルギー原単位が大幅に悪化した。

また、近年の電気料金高騰により国内生産における採算性が低下し、…の事態となった。

さらに、新興国における技術力の向上など、○○業界の市場環境は厳しさを増している。

(2) 目的

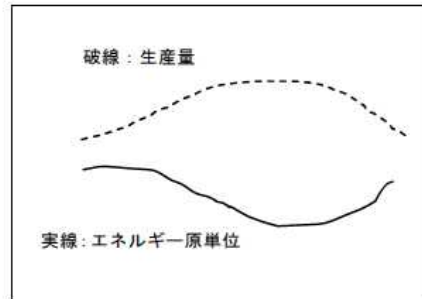
現状分析による課題抽出、目指した目的を簡潔に示してください。

〇〇工場のエネルギー消費割合を図〇に示す。電力消費量が〇%と高く、……………生産量減少によりエネルギー原単位が悪化したため、工場長のトップダウン指示により、全製造ラインの見直し作業を展開し、生産変動に影響されない新たな製造ライン再構築を目的とした。

エネルギー消費割合



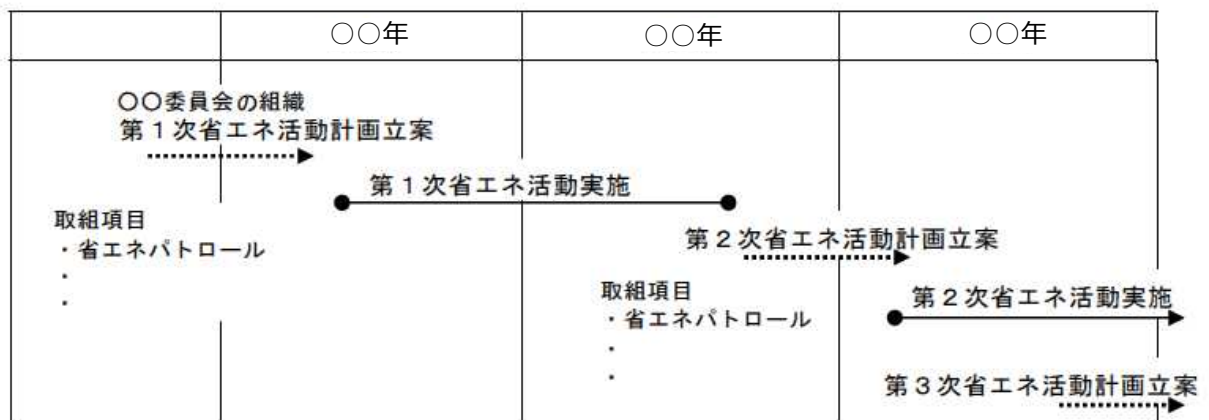
エネルギー原単位と生産量



(3) 経緯

いつからどのような活動を行っているのか記載してください。

省エネ活動として「〇〇エコ活動」を〇〇年〇月より開始。この省エネ活動を加速するため工場長を委員長とする〇〇委員会を〇〇年〇月に組織した。この〇〇委員会で省エネ活動計画を立案し、工場全体で実施している。あわせて、……………を行い〇〇委員会に提案を行うとともに、省エネ意識の啓発に力を入れている



2-2 エネルギー管理体制

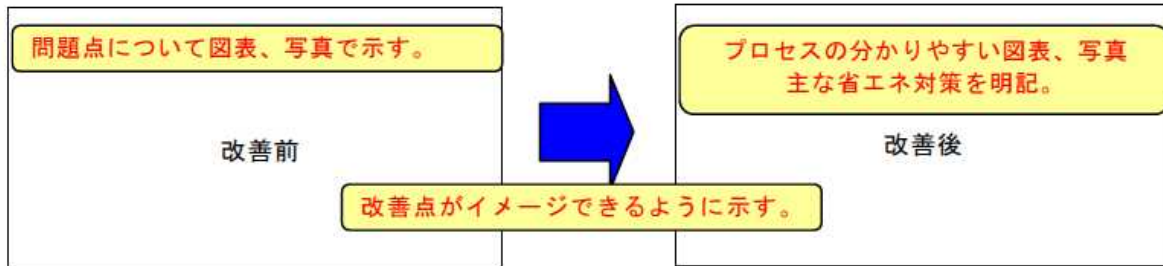
当社では、省エネ活動として「〇〇エコ活動」を〇年〇月より全社一丸となって取り組んでいる。省エネ活動の推進を加速するため、〇〇委員会と省エネパトロールを開催し、P D C Aサイクルを回している。



- ・省エネ目標、中長期計画
- ・改善実施、現場パトロール
- ・実績把握、進捗管理
- ・次年度の課題抽出
- ・本活動により、生産変動に関係なく確実にエネルギー原単位の低減を達成。

2-3 主な実施内容(省エネ推進活動)とその成果

○年4月から翌年3月にかけて、生産変動に強い省エネ型○○○製造ラインの再構築を実施。

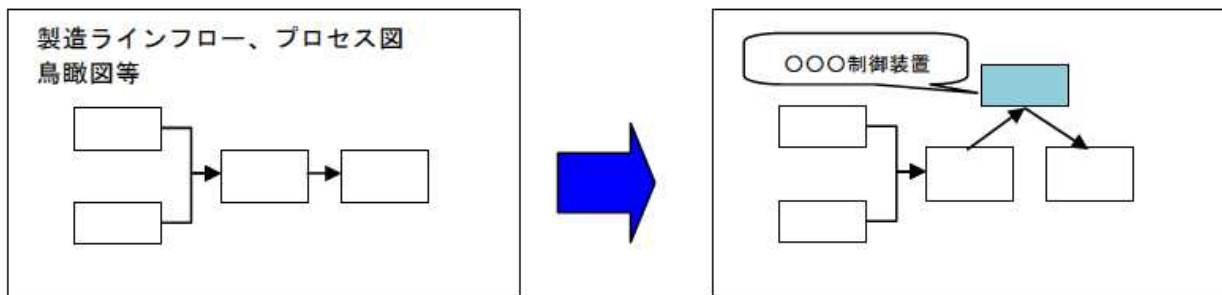


(1) 取組んだ省エネ対策

①○○○制御装置の導入(投資額○○万円回収年数○年)

…ラインに○○○制御装置を導入することで、従来機と比較し○○kWhの電力使用量(原油換算○kL)を削減することができた。

活動の成果にはCO₂削減量だけでなく必ずエネルギー削減量(原油換算kL)や原単位変化等を記載してください。



②○○○技術の開発(特許○件出願済)

○○○ラインにおける……工程において、……が課題となっていた。この課題を解決するために……を開発した。これにより、……の効率的な管理が可能となり、原油換算で年間○kLの削減に成功した。

③○○○センサーによる「見える化」作戦の展開(○○新聞で紹介)

従来は1箇所の設置に留まっていた○○センサーを○○箇所と設置箇所を大幅に増やした。これにより工場内のきめ細かなエネルギー把握が可能となり、エネルギーロスの発見が容易となった結果、効果的な省エネ施策を実施できるようになった。また、新たな省エネ活動を行う際の参考になるなど高い効果があった。

④電力のムリ・ムダ抽出パトロール

毎週○曜日に実施している電力のムリ・ムダ抽出パトロールにおいて、当初は不要な点灯箇所や設備の運転が指摘されたが、改善された。各担当者が輪番でパトロールを行うことで……の効果が得られた。また、パトロールの際に気付いた点を……により共有し、効果が高いと考えられるものについては○○委員会に提案を行い、工場全体の実施施策として採択された。

(○○件提案、○件採択)

活動を紹介する図表、写真等があれば示してください。

省エネパトロール写真

(2) 省エネルギーの達成状況のまとめ

同業種との比較で優れている点を定量的に示しても結構です。費用対効果に優れていることも定量的に示してください。

今回の省エネ活動による工場全体での省エネ量は下記のとおり。

【当該プロセスの省エネルギーの達成状況】

- (設備導入前と比較)
- ・対象設備のエネルギーの削減
削減量 (原油換算) ○○kL
削減率○%
 - ・対象設備のエネルギー原単位の削減
削減量 (原油換算) ○kL/△
削減率○%
 - ・CO₂削減量○○t

省エネ量はできる限り原油換算量を中心に、定量的に示してください。

【取り組み項目毎の省エネルギーの達成状況】

- ①○○○制御装置の導入：
電力使用量の削減量原油換算○kL
- ②○○○技術の開発：
蒸気の削減量原油換算○kL
- ③○○○センサーの導入：
灯油の削減量原油換算○kL

【事業所全体の省エネルギーの達成状況】

- ・事業所全体のエネルギーの削減
削減量 (原油換算) ○○kL
削減率○%
- ・事業所全体のエネルギー原単位の削減
削減量 (原油換算) ○kL/△
削減率○%
- ・事業所全体のCO₂の削減量○○t

【当該プロセスの経済効果】

- ・省エネメリット○万円
- ・投資額○○万円
- ・回収年数○年

非公開箇所は、場所と範囲を明確にし、「非公開」のアイコンをつける等によって明示してください。

非公開

投資額については非公開をお願いします

2-4 今後の課題と取り組み計画

従来、○○ライン○○工程の・・・については、改善が困難と想定されていた。しかし、今回得た知見を応用することで改善できる見込みがあることから、・・・技術について改良を行い、○○ライン○○工程へも展開して行きたい。

【計画】

- ～○年○月 (目途) ・・・技術の改良
- 年○月 ○○委員会へ付議
- 年○月 ○○ライン○○工程での試験運用
- 年○月 ○○ライン○○工程での本格運用

3. 審査評価項目毎のまとめ

箇条書きでポイントとなる内容を分かりやすく示してください。

3-1 先進性・独創性

従来の取組み、発想と大きく異なる点は

- ・○○○○○.....
- ・○○○○○.....

現状把握方法、問題点の分析、取り組みの内容等が省エネ法判断基準の該当項目に準じて、先進的で独創性に富んだものであるという点を示してください。

新たな視点や新規に開発・改善した技術の内容等

3-2 省エネルギー性

- ・事業所全体のエネルギーの削減
削減量 (原油換算) ○○kL
削減率○%
- ・事業所全体のエネルギー原単位の削減
削減量 (原油換算) ○kL/△
削減率○%
- ・事業所全体のCO₂の削減量 ○○t

省エネ量はできる限り原油換算量を中心に、定量的に示してください。また、原単位の変化や改善率等も記載してください。

削減率は、事業場全体の削減が対象設備のみの削減が明確に記載してください。

同業種との比較で優れている点を定量的に示しても結構です。費用対効果に優れていることも定量的に示してください。

3-3 汎用性・波及性

- ・当該プロセスについて、業種を問わず幅広く応用展開できる
- ・省エネ活動の進め方は他事業のヒントとなり幅広く横展開できるものとする

【波及により期待される効果（年間）】

- ・事業所〇基実施 〇〇kL
- ・当社全体〇〇基に波及 〇〇kL
- ・国内同業他社の〇％に波及
〇〇基 〇〇kL
- ・費用対効果 単純回収年 〇〇年
(合理化金額〇〇円)

取り組んだ省エネ活動のうち、特に汎用性・波及性の観点から効果があったものについて、他業種などへ活用できる可能性や活用実績等について記載してください。

自社内あるいは自社グループへの適用可能性だけでなく、定量的な波及効果についても極力記載してください。

3-4 改善持続性

- ・全社をあげて省エネ活動を推進するため、〇〇年度より省エネ事務局を設置。
- ・各部代表、外部アドバイザー等からなる〇〇委員会を定期的に行い、省エネ活動計画を立案した。
- ・〇〇年度より第1次省エネ活動を実施し、成果を挙げた。現在は、第2次省エネ活動実施中である。

省エネ活動の取組期間と主な内容を整理し、今後の中長期的な計画について示してください。また、省エネ活動が継続的に今後も遂行されるための人材教育（外部・内部への研修状況）、啓蒙活動、エネルギー管理体制、ベンチマークの達成への工夫点等を示してください。

4. その他(省エネ大賞応募歴、他の表彰等受賞歴、外部発表等)

(1) 省エネ大賞応募歴

- ・令和2年度省エネ大賞 審査委員会特別賞受賞（応募テーマ名：〇〇による省エネ取り組み）
- ・平成23年度省エネ大賞応募（応募テーマ名：〇〇導入による省エネ）

過去の省エネ大賞で、本応募に関連する応募歴がある場合などご記入ください。
なお、過去省エネ大賞に応募歴がある省エネ活動の場合、その後の新たな取り組みであることが必要となります。

(2) 受賞歴

- ・一般社団法人〇〇工業会 技術賞（20〇〇年）「〇〇〇の省エネ技術」
- ・〇〇経済新報社 △△賞（20〇〇年）「〇〇による最新省エネ技術」

様々な表彰制度での受賞歴を記載してください。

(3) 特許、実用新案

- ・〇〇〇の制御方法（出願番号：〇〇〇）

(4) 文献等

- ・一般社団法人〇〇〇学会誌（20〇〇年〇号P〇〇）「〇〇〇の省エネ性について」

(5) 新聞発表

- ・〇〇経済新聞（20〇〇年〇月〇日掲載）「〇〇〇省エネ技術の開発」

整理 No
事務局記載

- ・ フォントサイズは「10ポイント以上」を使用。
- ・ 英数字は原則半角とする。

省エネ事例部門 小集団活動分野

2022 年度省エネ大賞

応募内容説明書

応募テーマ名

町工場における製品の品質向上とエネルギーコスト削減の両立

共同応募者含めて全ての応募者が中小企業に該当する場合はチェック

中小企業者とは、中小企業基本法第2条に規定する法人又は個人事業者
(応募要領 P.14「中小企業者の定義」参照)

応募者(社)名

代表者(社)名 株式会社〇〇〇〇

共同応募者(社)名

共同応募の場合は全ての名称を列記してください。

業種

プラスチック製品製造業

小集団活動の部門・
部署・サークル名等

▲▲サークル

業種の分類は、総務省の「日本標準産業分類（平成25年10月改訂）」により記載してください。

実際のサークル名称等を記載してください。

・ 応募内容説明書は、資料集やホームページ等で公開することがありますので、**非公開**としたい部分は、場所と範囲を明確にし、「非公開」のアイコンをつける等、明記してください。

1. サマリー (1 ページ以内)

(注) テーマ分野等の詳細は様式5に記載願います

1-1 企業・工場・事業場等の全体概要及びエネルギー管理体制等

省エネ法に基づく特定事業者該当 エネルギー管理指定工場等に該当

- 1) 1970 年創業。2000 年に ■ ■ 課を含む第二工場を同敷地内に増設。
- 2) 従業員数：20 名（事務員 2 名、工員 18 名）（〇〇年 3 月現在） うち、▲▲サークル：6 名
- 3) 設備概要：工場 ○○○○ 5 基、△△ 3 基、◇◇ 2 基、事務所棟
- 4) ▲▲サークルの主作業：工場管理、事務作業

企業または工場、事業場等の概要として、業種、業態、従業員数、活動期間、全体のエネルギー使用量並びにエネルギー管理体制、組織などを記載してください。
また事業場等全体における当該職場等の位置付け等も記載してください。

1-2 応募内容概要 (キーワード : 作業工程見直し、全員参加、省エネ意識向上)

プラスチック製品の品質向上を目指し、工場管理、事務処理作業において投資を伴わない運用改善を 6 名で構成する ▲▲サークルで実施した結果、エネルギーコストを低減でき省エネ活動継続につながった事例である。

主な取り組み活動は、①エネルギー使用状況の見える化、②無駄削減のためのアイデア出し、③……の実施。本取り組みにより、活動開始前と比べ、エネルギーコスト〇〇万円/年削減、エネルギー使用量（原油換算）□□kL/年の削減を達成した。

- ・応募内容全体が簡潔に分かるよう、350 字以内に記載してください。また上部カッコ内に今回の活動内容をキーワードとして記載してください。
 - ・全体概要は受賞発表時に、受賞内容としてニュースリリース、HP 等で公開されます。
本概要だけで内容が理解できるように、わかりやすく記載してください。
 - ・主な省エネの取り組みの内容とその成果（省エネ実績）について、端的に示すよう心掛けてください。
 - ・図表を使用せず、文字だけで作成してください。
 - ・エネルギーの削減量は原油換算を中心に記載してください。
※構成例：要約→具体的取り組み→省エネ成果
※公開されている受賞理由を参考にしてください。
- <https://www.eccj.or.jp/bigaward/winner21/pdf/e-all.pdf>

2. 詳細説明 (下記 3. と合わせ 4 ページ以内)

2-1 テーマ選定理由

日頃からどのような改善活動に取り組まれているのか、その中で本テーマを取り上げた理由や背景等を、所属する職場や組織の抱える問題点などとともにわかりやすく記載してください。

これまで当社では、環境・省エネを特段意識することなく品質第一の職人気質のベテラン工員を中心に各人が担当する受注製品などものづくりを進めてきた。

5年前より社長交代に伴い環境に配慮した企業活動を目指すも、工員全員からの積極的な支持を得られずいた。

当社の設備稼働率は週単位で変動があり、製品の品質向上はもちろんのこと、設備の維持管理や整備費に年間〇〇万円を要しており、近年のエネルギー価格高騰により工場・事務所棟全体の管理方法見直しが必要という認識があった。

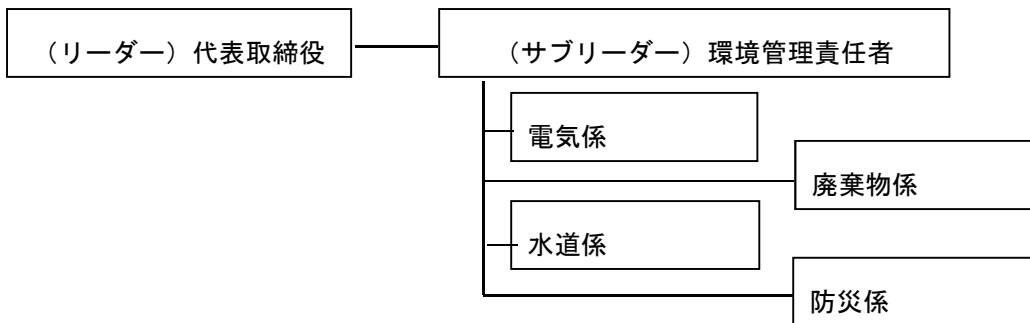
そのような中、当サークルの1名が外部の省エネ〇〇事例発表会に参加し、他業種ではあるが当社においても適用できそうな案件があったこと、無料の省エネ診断が受診できることなど具体的な活動手法情報が得られたことから、3年前より趣旨に賛同する構成員6名で▲▲サークルを結成、活動を開始した。

ベテラン工員の支持を得られるよう、製品の品質向上を第一の目標に掲げエネルギーコストの削減を目指した。

2-2 活動内容及び 創意工夫点など

- ・活動の体制・組織づくりや目標の立て方等における創意工夫、各現場の実態や課題を踏まえた活動方法の工夫点について記載してください。
- ・小集団活動としての具体的な省エネ取り組み内容を記載願います。活動組織や体制、推進にあたっての苦労した点や工夫点、改善点、また活動の先進性や独創性、改善の持続性等も評価対象となります。

【体制】〇〇年より以下の体制を構築し、年度ごとに目標を定め PDCA を実施



- ・省エネ目標 ・改善実施
- ・実績把握・進捗管理
- ・次年度の課題抽出
- ・省エネパトロール

これらを実施した活動についての写真・図表等

【活動内容】初年度（〇〇年度）に計画策定、××年度より段階的に実施。

年度	活動内容	活動の効果
〇〇年度	省エネ診断受診、環境・省エネ関係のセミナー参加・情報収集、エネルギー使用状況の見える化、省エネ目標設定と活動計画の作成	自社のエネルギー使用状況の把握・無駄の発見を共有、無駄撲滅のアイデア出し
××年度	〇〇年度の活動計画の基に以下を実施 圧縮エアの改善対策：〇〇〇〇、▽▽▽ 空調効率改善対策：〇〇〇〇、▽▽	エアの無駄遣い削減、電力削減
△△年度	××年度の活動継続に加え以下を実施 待機電力削減（PC から生産設備まで）	エネルギーコスト削減、全員の省エネ・環境意識向上

2-3 省エネ活動の成果

本取り組みの活動期間や成果等を具体的に記載してください。

活動の成果としてはコストや CO₂の削減、業務効率や生産性向上など様々なものがあると思われませんが、必ずエネルギーの削減量（2種類以上のエネルギー削減がある場合は原油換算量での合計値）と部門全体あるいは事業所全体に対し原単位がどう改善されたか等を記載してください。

××年度 エア・電力の無駄削減：エネルギー使用量（原油換算）□□kL/年削減

燃料費削減 ○万円（前年度比）

△△年度 待機電力の削減：エネルギー使用量（原油換算）□□kL/年削減

燃料費削減 ○万円（前年度比）

3. その他（省エネ大賞応募歴、他の表彰等受賞歴、外部発表等）

・省エネ大賞応募歴：なし

過去の省エネ大賞で、本応募に関連する応募歴がある場合などご記入ください。

なお、過去省エネ大賞に応募歴がある省エネ活動の場合、その後の新たな取り組みであることが必要となります。

・文献等：一般社団法人〇〇〇学会誌（〇〇年〇月号 P〇〇）「品質向上とエネルギーコスト削減について」

様々な表彰制度での受賞歴を記載してください。